

油汚れ専用洗剤

イシクリーンシリーズ

オイルゲッター

Konsho co.,Ltd.

使用前の注意

本品は第4類第2石油類相当の危険品です。火気には十分に気を付けて下さい。使用時は常に換気をよくしておき、ゴム手袋を着用して下さい。また、液に直接顔を近付けないようにして下さい。
天然石材以外の素材に使用すると艶落ち等の影響を及ぼすことがありますので、施工前に必ずテスト確認を行なって下さい。
本品は油分除去用途にのみ効果を発揮します。

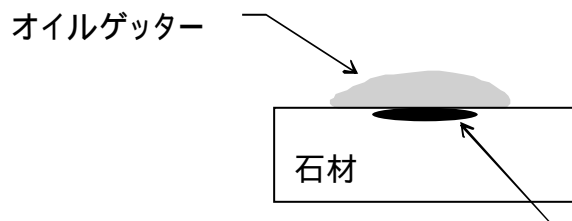
使用方法

風が強い場所や暖かい場所では液の乾燥が早いため、効果を期待できません。
液が乾燥しないようにラップで覆うか、またはC.の湿布方法で行なって下さい。

A 早い時期の油シミ除去方法

オイルゲッター原液をシミの上に液だまりができる程度に塗布します。
5～6分放置後、柔らかいもの()で表面をブラッシングして下さい。
そのまま30分ほど放置しておきます。液の自然乾燥と同時にシミが除去されます。

1回で除去されない場合は、上記の方法を繰り返すか、またはB.の方法で行なって下さい。()素材に傷をつけない不織布・パッド等



B オイルゲッターで除去しきれなかった場合

A.あるいはC.を施工後に、分散太郎の5倍希釈液を塗布します。
5～6分放置後、ブラッシングを行ない、水で十分に洗い流して下さい。

C

日数を経た油シミ除去方法

オイルゲッター原液とネンドルを耳たぶ程度の固さに混ぜ合わせます。

ビニール袋の中で混ぜ合わせますと、手を汚さずに行なえます。

シミの上に で混合したものを載せて素早くラップで覆い、その上から手で押し付けながら5mm程度の厚みにします。

そのままラップを覆った状態で、1時間以上湿布します。

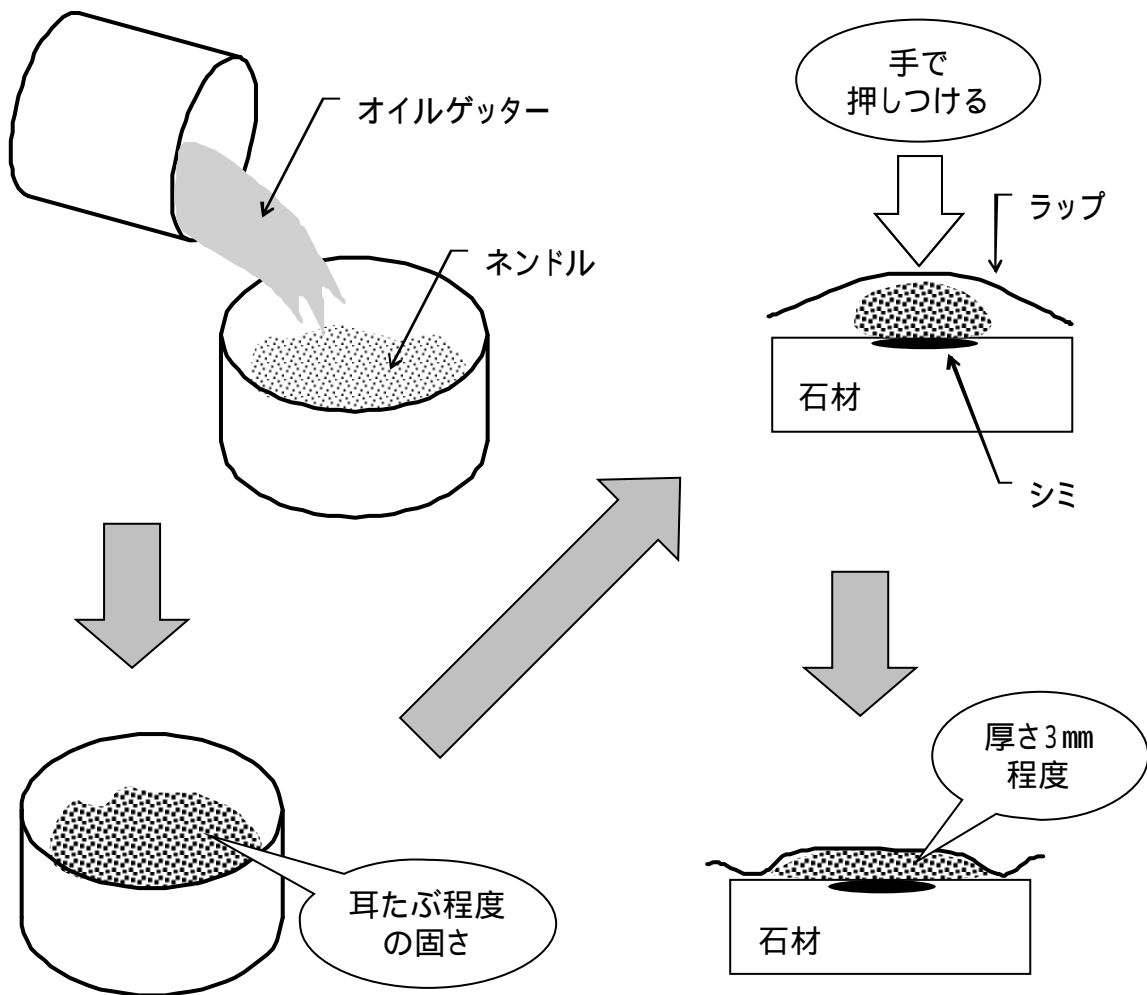
湿布時間が経過したら、ラップを取り除き30分以上自然乾燥させます。

ブラッシングを併用してネンドルを除去して下さい。

洗浄後、液だまり周縁にシミのようなものができることがありますが、その部分にオイルゲッターを塗布して自然乾燥させることですぐに除去することができます。

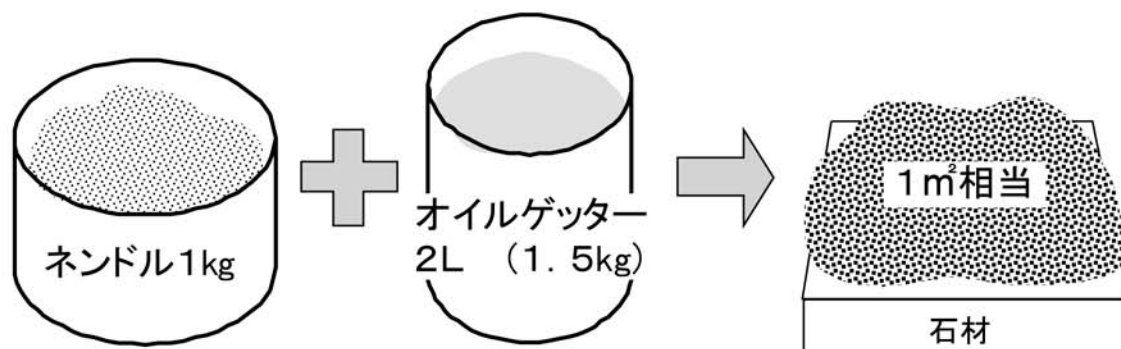
ネンドルの再使用は出来ません。また使用後のネンドルは不燃物となりますので、多量の場合は専門業者に廃棄を依頼して下さい。

1回で除去されない場合は、 ~ を繰り返すかB.の方法で行なってみて下さい。



標準使用量

- ◆ 使用方法A. の塗布方法. . . オイルゲッター5~6㎡/L相当の使用量
- ◆ 使用方法C. の湿布方法. . . ネンドル1kg (1㎡相当)に対してオイルゲッター2L



紺商株式会社

〒940-0061 新潟県長岡市城内町3-7-8
Tel. (0258)32-4411 Fax. (0258)32-4669
URL <http://www.konsho.co.jp>